

立命館大学技術士会 第17回総会 ご案内

令和 8年(2026年) 4月吉日
立命館大学技術士会 会長 星野和之

立命館大学技術士会会員各位

新緑が目には鮮やかな季節となりましたが、会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。

さて、立命館大学技術士会は、2009年12月の設立以来17年間その活動を継続できました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

この間、当会における活動としては、①会員相互の親睦、②大学の発展に貢献、③会員の技術レベルの向上と会の発展・拡大、④技術士を目指す母校後進への支援、⑤地域および社会活動への技術支援、助言等するなどの活動も定着してきました。

また、技術士の受験指導を継続開催し、延べ48名の技術士を輩出できました。

更に、大学では7月に「立命技術士懇談会」、11月に「めざせ！技術士」を開催し、公務員・ゼネコン・コンサルそれぞれの立場で活躍する会員技術士が、学生達に卒業後の技術者としての社会活動のあり方や実社会での経験談をお話しています。こうした活動内容のご報告と本会へのご意見を賜るため、第17回総会および講演会、親睦会を開催いたします。会員皆様方には奮ってご参加ください。

記

1. 開催日時 : 令和 8 年 5 月 23日(土)
2. 開催場所 : (一社)中央電気倶楽部 (215号室)、親睦会は3F大食堂
3. 開催内容 : 総会 13:00~14:00
講演会 14:00~17:00
親睦会 17:00~18:30
4. 回答期限 : 総会、講演会、親睦会参加の有無は5月18日(月)までに、返信用データにて下記、企画・窓口担当のメールアドレス又はFaxにてご回答ください。

なお、講演会は、会場およびZoomを使用したWeb併用で開催いたします。講演会参加希望者は必ず、連絡用メールアドレスを企画・窓口担当メールアドレス又はFaxでお知らせください。講演会開催の前日に、参加用URLをお知らせします。

ただし、講演会は時間の都合上、当日は聴講のみで質問等は受付出来ません。

事務局 企画・窓口担当

E-mail: rits.kikaku.mado@gmail.com

URL: <http://alumni.ritsumeijp/gjutsuskai/>

Fax : 06-6266-2246

立命館大学技術士会 第17回総会 次第
令和8年(2026年)5月23日(土)
13:00 ~ 17:00
(一社)中央電気倶楽部 215号室

第 17 回 総 会 (13:00~14:00)

- ① 開会および司会挨拶…………… 事務局
- ② 会長挨拶 …………… 星野和之会長
- ③ 議長選出 …………… 会則により会長
- ④ 議案審議 …………… 1) 第1号議案
第16期事業報告
……………事務局(幹事長)
- 2) 第2号議案
第16期決算報告および監査報告
……………事務局(幹事長、会計監事)
- 3) 第3号議案
第17期事業計画(案)および予算(案)
……………事務局(幹事長)
- 4) 第4号議案
第17期役員人事(案)
……………事務局(幹事長)
- ⑤ 閉会の辞 …………… 事務局

以上

講 演 会

- ① 狭間 恵三子 様 (14:00~15:30)
大阪商業大学 公共学部 教授

演題：「地域資源をいかしたまちづくり」

- ~~~~~
- ② 藤本 将光 様 (15:30~17:00)

立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授

演題：「土砂災害を知る、備える」

~~~~~

- < 第 2 部 > …… 親睦会 (17:00~18:30)  
会 費 : 1人 5,000円  
会場は、中央電気倶楽部 3F 大食堂

## 講演者紹介および講演概要

### 講演1. 狭間 恵三子 (はざま えみこ)

大阪商業大学 公共学部 教授



#### 演 題：「地域資源をいかしたまちづくり」

概 要： 人口減少、少子高齢化、東京一極集中が進み、多くの地域では、経済縮小、過疎化などの課題を抱えています。そのような中、地域の魅力を再発見し、新たな活力を生み出すまちづくりの取り組みが各地で進められています。それぞれの地域が有する自然環境、人的資源、伝統文化、その地域を支える市民・関係者など、地域の特性を把握し、いかすことにより、地域を元気にしていくことが重要です。堺市の歴史文化資源をいかしたまちづくりを中心にご紹介し、地域資源をどう活かして活性化に繋げていくか、考えてみたいと思います。

学 歴： 1982年 立命館大学文学部 卒業

2013年 大阪市立大学創造都市研究科博士(後期)課程修了

職 歴： サントリー株式会社

堺市副市長

立命館大学 衣笠総合研究機構 上席研究員

大阪商業大学 公共学部 教授 (2020年4月より)

西日本旅客鉄道株式会社取締役監査等委員

主な図書：『地域を変える文化の公共性—住民、企業、政府の役割』(編著) [白桃書房 2025年]

『瀬戸内国際芸術祭と地域創生—現代アートと交流がひらく未来』[学芸出版社 2023年]

『日本ボランティア・NPO・市民活動年表(増補改訂版)』(共著) [明石書店 2022年]

『変わる盛り場—「私」がつくり遊ぶ街』(共著) [学芸出版社 1999年]

『時代の気分 世代の気分—私がえりの時代に』(共著) [NHK出版 1997年]

「伝統産業における後継者育成の取り組みと課題—堺市における刃物産業を事例に一」  
[地域経済学研究 2024年]

「文化の外部性からみた瀬戸内国際映画祭」

[『大阪商業大学アミューズメント産業研究所紀要』2024年]

## 講演者紹介および講演概要

### 講演2. 藤本 将光(ふじもと まさみつ)

立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授

環境保全防災研究室



#### 演 題：「土砂災害を知る、備える」

概 要： 近年、土砂災害が増加傾向にある。清水寺などの対象地を事例として地形解析、斜面の水分量、傾斜等の計測モニタリングを行い、その結果を用いた解析により斜面崩壊のメカニズムの解明、斜面崩壊の基礎対策を進めている。今後の気候変動を踏まえた将来の豪雨に対して斜面崩壊にどう影響するのか？どう対応するのか？について報告する。

学 歴： 2003年 東北大学理学部地圏環境科学科 卒業

2005年 京都大学大学院農学研究科修士課程地域環境科学専攻 修了

2008年 京都大学大学院農学研究科博士後期課程地域環境科学専攻 修了

職 歴： 2008年 京都大学大学院農学研究科 研究員、特定教授

京都大学学際融合教育研究推進センター 特定助教

2012年 立命館大学理工学部 助教授

2017年 立命館大学理工学部 准教授

2026年 立命館大学理工学部 教授

主な図書：2020年 砂防の観測の現場を訪ねて1～

土砂災害を知るための観測～

第11章 斜面崩壊の発生を予測する <世界文化遺産を守る>

2022年 砂防の観測の現場を訪ねて3

～水の動きの不思議～基岩層を介した降雨流出プロセスの解明

一般社団法人 **中央電気倶楽部案内図**

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号

TEL 06-6345-6351 (代)

FAX 06-6345-6877

- 大阪駅より徒歩12分  
JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線  
西梅田駅より6分  
(堂島地下街南詰  
C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線  
渡辺橋駅より5分
- 印は自動車の一方通行

